

【地産外商について】

足元の経済が小さくなったら、この経済を活性化していくために何をしないとイケないか。外からお金を稼いでくる力を付けなければなりません。地産外商ということで、今、一所懸命、県全体ですすめていこうとしているところです。

「地産外商」地に産する、外で商うと書いて地産外商。これができる力を付けていくことが、是非とも重要だというふうに思っています。高知県のを県外にどんどん売り込んでいくために、いろんな仕組みを設けている。地産外商公社というのをついたり、この夏には、アンテナショップを東京に設けるとか、そういうことをして県外に売り込みをすすめていこうと、一所懸命しているところです。